

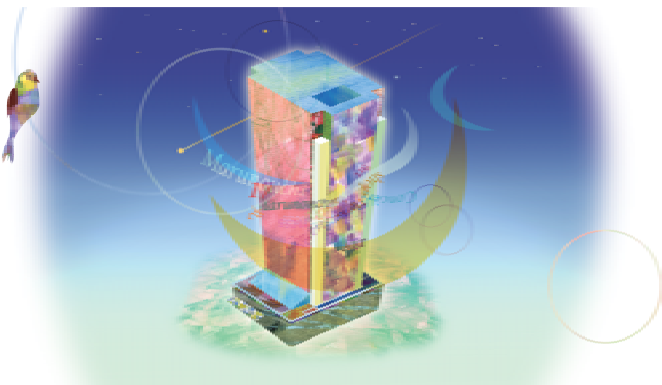


1

夜景は私たちをワクワクさせます。丸の内の周辺は、ビジネスの中心地でもあります。輝くビルは、その活気、人々の高揚感や可能性を表現し、青空と組み合わせることによりビル＝ビジネスという現実的な側面だけでなく、夜のビル街に感じる、幻惑される不思議な感覚を表現しています。のぞきこんでいる鳥もドキドキしていることでしょう

2

皇居周辺は豊かな自然があり、お堀には一年を通して、さまざまな鳥が訪れ、豊かな緑や水は、朝、昼、夕方、夜と、多様な姿を見せてくれます。ここは、都心とは思えない涼やかな風が通る鳥たちのパラダイス、都会で生活する鳥にとっての、憧れの場所になっているかもしれません。

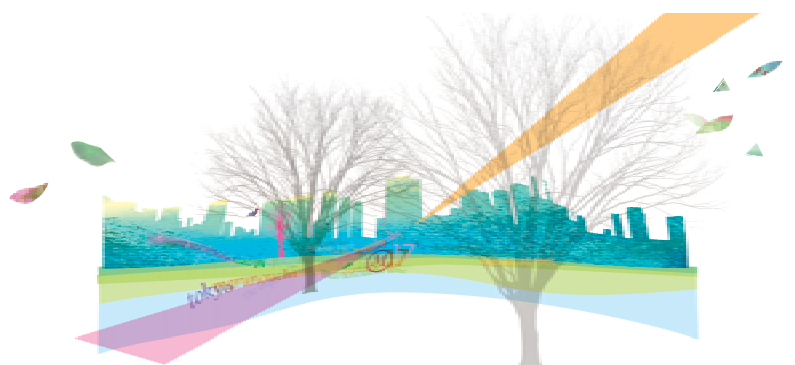


3

丸の内は、歴史あるものや、ビジネスの中心だけでなく、ムーブメントの中心でもあります。ファッション、アート、音楽、そしてグルメ、若い人たちの憧れの場所、そこは、キャンディボックスのようにキラキラと光を放ち、鳥も眩しく見えています。

4

都心を歩いていて、こんなに視界が広々と開けているところが他にあるでしょうか。霞ヶ関のビルも小さく見えるほど。大きな樹も、のびのびと枝を伸ばしています。鳥が羽を休ませる場所もたくさんあります。鳥たちは、広い空へと舞い上がる秋の落葉を見守り、春の芽吹きを、樹と共に待ちます。





1

夕日に映える丸の内のビルは美しく、赤い樹はそんな夕日の象徴です。ビルと鮮やかな夕日、樹木の組み合わせ、これも都心では珍しい景色です。鳥たちは、特等席からこの景色を眺めていることでしょう。

2

悠久の時はうつろい、社会や人の生活はめまぐるしく変化していきます。しかしながら、ここには変らない時が流れています。緑や鳥にとって、人間の価値観の変化など、なんの意味があるのでしょうか。鳥は、そんな二重橋を静かに見守ります。



3

皇居前の公園には、広葉樹もあれば落葉樹もあります。季節は美しい春の訪れに始まり、一年を通して公園の樹木を彩ります。公園の豊かな自然や、そこに集まる鳥たちは、私たちにそれぞれの季節の美しさを色鮮やかに教えてくれます。

4

東京駅周辺は、車の往来も激しく人々の活気が溢れています。人々の「気」は車の往来同様、あらゆる方向に飛び交い、都心の時間は早く流れるように思えます。そんな活気に呼応するかの如く、空には、上昇気流をつかもうとする鳥が、羽ばたいています。

